

# 飲水思源

町長

松岡市郎

## 読書と図書館建設に向けて

読書という図書館と世界一本を読む国、フィンランドをイメージすることがある。町の図書館は町の中心部に造るべき、とは議会の提言である。そして住民の図書館と学校司書等に対する関心は大変高いものがある。

寒冷で資源がない国の最も大切な財産は、「人のブレイン（脳）」で、脳を活性化する源が読書なのだという。子どもの頃からの読書は思考力や好奇心などを養い、自ら生きる逞しい成長に大きく貢献するとして、睡眠前に読書習慣として家庭で必ず子どもに本を読み聞かせるようである。子どもからは「どうして」「なぜ」などと質問が返ってくるが、この質問に答えるのが親の大きな役割だと聞いた。教育の目標は「教えるのは少なく、学ぶのは多く」と、自ら学ぶ教育に重点を置き、それは読書を通じて養われる。そして市民がどこでも知識の源になる本を読むことが出来るシステムを作り上げた。それが図書館だそうだ。フィンランドは子ども遊びを支援するところ

も有名であるが、「世界一の学力」を誇る源は読書と遊びかもしれない。

幼い時に親から読んでもらった本は印象に残っているものだ。本町では各小、中学校でも読書に対する取り組みが積極的に行われていると聞く。そして町では子どもの家庭学習の起点を応援する視点から「君の椅子」事業を続けている。子どもが椅子に座り、傍らでお父さん、お母さんが子どもに毎日絵本を読み聞かせるということは、親子の絆を培うための最高の遊びだと考えている。この読み聞かせを通じて、読書に対する関心が自然に高まることに期待している。

さて、東川小学校移転後の中心市街地跡地利用では、町内からさまざまな提言をいただいている。この中のひとつとして、図書館の設置検討を教育委員会とも具体的に協議している。今年中には公募委員による建設検討会議を立ち上げ、知恵を結集して住民に利用される素晴らしい図書館の実現を目指したいものである。

文化交流館  
☎82-4245

## 新刊図書・ビデオ案内

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています

1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間。

インターネットで蔵書検索が出来るようになりました。http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index



ステキな金縛り  
(アニメ、DVD)  
東宝株式会社

裁判の失敗続きで後がない三流弁護士的主人公エミ。ある時担当した事件の被告人は、妻殺しの容疑をかけられた夫だった。被告人は事件当日、旅館の一室で金縛りに遭っていたため、完全なアリバイがある、と無罪を主張する。それを証明できるのは一晩中夫の上のし掛かっていた落ち武者の幽霊だけだと、エミはその幽霊を証人として法廷に召喚させるが…。(142分)



ライ麦をたべたるばのロバート  
(児童書)  
著/林原玉枝 刊/富山房インターナショナル

ろばのロバートは、大好きな飼い主のこうたろうさんに怒られた。悪いことをしたから怒られたはずだった。「こうたろうさんはいい人だから、悪いことをしなければおこるはずがないもの」。でもロバートには何が悪いことなのかわかりません。泣いて悲しむロバート。こうたろうさんは、どうしてロバートを怒ったのでしょうか？



ボクの妻と結婚してください。  
(一般書)  
著/樋口卓治、刊/講談社

「世の中の出来事を好奇心で“楽しい”に変換する」ことを信条に活躍する売れっ子放送作家の三浦修治。そんな彼は余命6カ月を宣告されてしまう。残される妻と子供に何を残せるのか。番組の企画を22年間考え続けた男が思いついたのは、自分がいなくなったあとに家族を支えてくれる人を探すこと、すなわち妻に新しい結婚相手を探すことだった。